

平成26年度東林地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	レインボー・コンサート
申請団体	レインボー・ミュージックソサエティー
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽の溢れる文化豊かなまちづくり ・地域の交流機会の創出 ・音楽による情操豊かな子どもの成長
交付決定日	平成26年5月27日
交付決定額 (事業費)	160,000円(決算468,263円)
団体実績報告	<ul style="list-style-type: none"> ・レインボー・コンサートと題し、下記8回のイベントを実施した。 6/11 トランペットデュオ 7/9 ギターアンサンブル 9/10 ラテンムードギター 10/8 ギターアンサンブル 11/12 ギターアンサンブル 12/10 ヴァイオリンソロ 2/11 トランペットデュオ 3/11 バリトンソロ ・平成25年度より、17回継続開催できていることは、地域住民から支持されている結果と思う。 ・100名の定員に対して1回平均92名の参加者であった。 ・これをきっかけに、友人と昼食ができたり、新しい仲間ができたとの声があり、目的の一つである地域住民の交流ができつつある。 ・日頃、家にこもりがちな人の交流の機会が増えた。 ・地元アーティストの発表の場にもなった。 ・演奏者と聴衆と一緒に唄うことでイベントに一体感が生まれた。
市評価	<p>昨年度に引き続き、毎回異なるメニューを企画し、地元住民の交流促進に取り組んでいる。参加者数も安定し、定番のイベントとして高齢者を中心に楽しまれており、良い外出の機会となっている。また、運営面でも、将来の自立を見据え、自主財源の確保に取り組んでいる点も評価できる。</p>
備考	

申請事業名	東林地区自治会加入促進プロジェクト
申請団体	東林地区自治会連合会
事業目的	自治会活動の重要性に対する住民理解と自治会加入者の増加。
交付決定日	平成26年5月27日
交付決定額 (事業費)	600,000円(決算603,075円)
団体実績報告	<p>東林地区自治会連合会で「自治会加入促進プロジェクトチーム」を作り、会議を重ね、自治会加入促進のための戸別訪問を実施した。戸別訪問を経て、新規加入47世帯のほか、18世帯が加入を検討するという結果を得た。</p> <p>実施にあたり、共通のチラシ、各単位自治会用チラシとともに、戸別訪問の際に用いる訪問票や不在票、啓発グッズを作成した。</p> <p>活動が、自治会の重要性を人に説明するという行為を伴うことによって、「なぜ自治会が必要なのか」という問いに対して、自治会役員が共通認識を持つ良いきっかけにもなった。</p>
市評価	<p>従前の、無作為にチラシを配布するというような方法ではなく、地道に訪問を実施する今回の事業は、自治会加入率の低下を捉え真剣に取り組もうとする自治会連合会の強い意志が感じられた。</p> <p>そうした中、50世帯近い新規加入者を得られたことは評価に値するものである。</p>
備考	

申請事業名	地域ボランティア促進活動
申請団体	東林めだかの学校
事業目的	「話し方」「朗読」等を学び、最終的にはその学習成果を活かして高齢者のコミュニティー（絆）づくり、高齢者に対する福祉活動、児童の健全育成、ボランティア活動へと発展させ地域に貢献すること。
交付決定日	平成26年5月27日
交付決定額 (事業費)	280,000円(決算280,718円)
団体実績報告	<p>東林めだかの学校10周年記念発表会を8月9日に実施し、約300名の参加者があり、多くの地域の方々に認知していただいた。また、ボランティア出前活動については、上鶴間こどもセンター、東林間シニアクラブ等で年間8回実施した。今年度は、新たにくぬぎ台児童クラブも出前先に加わった。</p> <p>10周年記念発表会を地域の方々にご覧いただくことにより、ボランティア活動に対する意識が高まったと考えている。発表会后に、2名の方が新規ボランティアとして入会した。</p> <p>ボランティア出前活動は、児童もよく清聴し学習している。また高齢者施設では、私たちの活動を待ち望んでおり、入所者とともに楽しんで活動している。</p>
市 評 価	<p>子どもや高齢者を対象とした出前活動を通して、紙芝居や朗読などによる住民の交流が図られている。</p> <p>また、10周年記念発表会により、さらに認知度が高まり、これをきっかけに2名の新規ボランティアが誕生したことも評価できる点である。</p>
備 考	

申請事業名	東林地区自転車マナー向上事業
申請団体	東林地区交通安全母の会
事業目的	住民の交通安全意識の向上。 交通事故の減少。
交付決定日	平成26年7月4日
交付決定額 (事業費)	350,000円(決算352,164円)
団体実績報告	<p>スタントマンが交通事故を再現し、参加者が交通事故の恐ろしさを目で見て体験する「スケアードストレート」形式の交通安全を実施した。併せて南警察署の講話や参加者への啓発グッズを配布した。約220名の地域住民が参加した。</p> <p>子どもから大人まで幅広い年齢層の参加があり、地域の交通事故防止の意識向上につながった。</p> <p>また、参加者が交通事故の恐ろしさを目で体験することにより、地域での交通事故が減ることに期待が持てる。</p>
市評価	東林地区として初めての試みであったが、自転車に乗る子どもや歩行者としての住民への啓発だけでなく、車を運転する側の大人への啓発にもなった。また、様々な事故を実際に再現することで、従来の交通安全キャンペーン等では伝えられない強いメッセージを発信することができた。
備考	